

# 夜間学校 ニュース

1986年12月5日  
西成区萩之茶屋2の8の9 旅路の里気付  
釜ヶ崎夜間学校

在日朝鮮人・韓国人の  
指紋押なつ拒否断固支持！  
定住外国人に市民権を

## いよいよ師走

### それぞれ越年対策と釜ヶ崎の越冬闘争

まずはおわび。先週の夜間学校は市民館が使えなかつたので、休みとした。ニュースは配る予定だったのだが、百不担当音が、ニュースも休みとカン違いしたために、ニュースまで休みとなった。ニュースを楽しみにしている仲間も必ずいると思つたので、お詫申し上げる。さて、いよいよ十二月、

#### 師走である。

月はじめというのに、アブシをもらう仲間が少ない。やはり、年末年女ののことを考えて、今は、飯場、現金と仕事、仕事の毎日をおくっている仲間が多いことを示している。それぞれの越年対策に一生懸命努力している。そして、釜の多くの仲間には、自力で年を越す。

しかし、そうはできなかつた仲間も年末にはでる。年末まで居るつもりで行った飯場が、超ケタオチで途中で帰らざるを得なくな

り、もう一度飯場へ入りなおそうとしてできないハメになった仲間、あるいは、仕事の都合で月半で帰って来た仲間、または、年末に事故にあり、労災手続が順調に進まず年越となつてしまった仲間、せっかく稼いだ金をシノギに奪われた仲間などが、寒空もこ、青カンを余儀なくされることになる。

#### 新しく釜に来た仲間へ

白手帳・アブシをもらう仲間が増えていく。職安の職員などに言わせること、電車に乗ってもらいに来ているものもいる。と、暗に日雇以外のもものが手帳をこころえはじめたせいだといわんばかりである。私達は不況で労働者が増えたせいだと考えている。二二二、三年のうち、手帳をつくった仲間から生の声をききたいと思つて、是非、夜間学校へ！

毎週金曜日  
夜七時より  
市民館三階

釜ヶ崎夜間学校

みんなで作ろう

みんなの会館

三人よれば何とかの知恵



そのよつな青カンを余儀なくされる仲間から、一人の死者も出すなき台言葉に、釜ヶ崎労働者全体にかかめることとして越冬闘争がおこなわれる。

二十九、三十日のモ千代支給日には、越冬闘争実行委員会から、モ千代の支給を受けた仲間の全員に対して、主カンパが呼びかけられたが、多くの仲間がカンパに応じ、二日間で百二十万円を越える額となった。

働く仲間の熱いカンパをもとに、仲間の命を守る越冬闘争がおこなわれる。このことは、暮らすべき、働き人の連帯をたたえるべきことであるが、しかし、越冬闘争が毎年繰り返されることは決してまぶべきことではない。

青カンを余儀なくされる仲間が、一人もいなくなれば、越冬闘争はしなくてはならぬ。そのこ

とが、本当は一審判決しきりことなのだ。

一九七〇年、センターが開設された年の暮れから、センターの周辺で青カンしている仲間を放置しておいてよいのか、という声があがり、オニギリをもつてのပါတーが生まれた。それが越冬闘争の始まりである。翌年からは、花園公園（旧西条ヶ辻公園）にテントが貼られ、個々別々の青カンではなく、集団としての青カン闘いの拠点としてこのテント村を軸とした越冬闘争が始められたが、反決の

もつとも深まった一九七六年、通年テント村の様相を示し始め、そこから反失業の声がぶちまけることになった。行政が、機動隊を使って圧殺した。その後、仏現寺公園（救急センター）をへて、医療センター軒下を野営地とし

この越冬闘争となった。

昨年、一昨年は、福祉センターで、労働者使ひ捨りの強化に、黙って野垂れ死にはできないと、三角公園を越冬闘争の軸の一つに加え、そこでの連日の集会和野営が開始された。京都ザンバで青カンを余儀なくされている仲間への連帯行動もとられた。

三角公園での野営の開始には、もう一つ理由がある。それは前年、青カンを余儀なくされる仲間が野営地で五百名近くになり、野営地前の道路の半分近くまでフロンを並べざるを得ない状況となった。そこで、シヤブ中の運転する車がフックをかけたのだ。車はきりどいところで急転回し、リヤターと勝利号のフロントがラスをこわしたただけです。だ。まっすぐ走っていたら、

十人を越える仲間がひきこぼされていったことだろう。

仲間を死から守るための野営地で、交通事故から仲間を死に追いやる、考えたただけでもゾロっとする出来事だった。医療センター下の野営地だけではパンクする事態に対応するための三角公園の野営地化でもあるわけだ。

このように、本当は無い方が望ましい越冬闘争が、毎年くり返されるのは、一つには釜ヶ崎をとりまく状況が、年々悪くなっているからだ。福祉切り捨、失業は強まるばかりだ。それをハネ返し、越冬闘争のないう未来にむけて、多くの仲間が越冬闘争に参加し、一人もいなくなれば、越冬闘争はしなくてはならぬ。そのこ